

図・書・紹・介

・当センター「図書コーナー」にある本を紹介しています。
 【貸出しのお約束】・1人5冊まで ・期限：2週間 ・利用時間：9時～17時
 ※時間外の返却はセンター入口横のポストをご利用ください。

『13歳、「私」をなくした私』
 性暴力と生きることのリアル』
 山本 潤
 朝日新聞出版
 ◆13歳から7年間、実の父親から性暴力を受けていた。中学生だった当時から現在までの苦悩、消えては現れるトラウマ症状、周りの人たちとの軋轢。性暴力は一人の女性にどのような影響を残すのか。

『死ぬくらいなら会社辞めれば、できない理由』
 汐街コナ / あさ出版
 ◆過労死・過労自殺する人が「死ぬくらいなら辞めれば」ができない理由をわかりやすく解説しながら、どのようにすればその状態から抜け出せるか、その方法と考え方を描きおろしている。

『男性の非暴力宣言』
 多賀 太ほか
 岩波書店
 ◆「ホワイトリボンキャンペーン」など、世界的大規模に、女性への暴力(DV・性暴力など)をなくす啓発活動が広がっている。本書は「力による支配」をなくすためどうしたらよいか、3人の著者が思いを綴った良書。



図書コーナーをご利用ください

●男女共同参画に関する書籍のほか、話題を呼んだ一般書籍や絵本も多く取り揃えております。ぜひお立ち寄りください！

ひとりで悩まないで...
 気軽に相談を...



女性専用電話相談です。
 相談は無料で秘密は厳守します。

とらいあんぐるん相談室

電話 027-224-5210

●相談日と時間

	火	水	木	金	土	日
9:00 ~ 12:00	○	○	○	○	○	○
13:00 ~ 16:00	○	○	○	○	-	-

・年末年始(12/29～1/3)、祝日、月曜日は休み ・月曜日が祝日の場合、火曜日も休み

【相談内容】家庭の問題の他、女性の自立や能力の発揮、性差に関する悩みなど...

とらいあんぐるん ぐんま男女共同参画センターのご案内



●お車で越しの際は、県庁内「県庁駐車場」をご利用ください。(2時間まで無料)

●開館時間：火～金 9:00～21:00
 土・日・祝 9:00～17:00

●休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日) 12月29日～1月3日

〒371-0026 群馬県前橋市大手町1-13-12

電話 027-224-2211 FAX 027-224-2214

メール sankakuse@pref.gunma.lg.jp



とらいあんぐるん 図書コーナー 28年度 貸出しトップ10

順位	書籍名	著者
1	コンビニ人間	村田沙耶香
2	幸せになる勇氣	岸見一郎/古賀史健
3	そういえば、いつも目の前のことだけやってきた	平田静子
3	嫌われる勇氣	岸見一郎/古賀史健
3	きのう何食べた?	よしながふみ
6	「あなたと会うと元気になる」といわれる人の共通点	斎藤茂太
7	男が働かない、いいじゃないか!	田中俊之
7	「専業主夫」になりたい男たち	白河桃子
7	キレる私をやめたい～夫をゲーで殴る妻をやめるまで～	田房永子
10	「暮しの手帖」とわたし	大橋鎮子
10	誰と一緒にでも疲れない「聴き方・話し方」のコツ	水島広子
10	咲く・ララ・ファミリア	越智月子
10	よつぱと!	あずまきよひこ
10	どうしても嫌いな人	益田ミリ

黄色は小説、水色はエッセイ、ピンクはコミックです。

とらいあんぐるん

ぐんま男女共同参画センター通信

2018年1月

No. 48



ぐんま男女共同参画センター
 〒371-0026 群馬県前橋市大手町1-13-12
 TEL: 027-224-2211
 FAX: 027-224-2214
 メール: sankakuse@pref.gunma.lg.jp

企画 インタビューコーナー 第22回

ぐんまだいがく だいがくいん
 群馬大学 大学院
 りこうがくぶ きょうじゆ
 理工学府 教授

いたばし ひでゆき
 板橋 英之さんに聞く



現在、女性の活躍推進は国の成長戦略の中核に位置づけられています。女性が様々な分野にチャレンジし、多様な視点や発想が加わることにより、経済成長とともに活力ある社会の実現が期待されますが、理工系分野で活躍する女性の割合はまだ低くという現状があります。県では、女子高生に将来の自分を明確にイメージしてもらうことで理工系分野への進路選択を支援する「女子高校生理工系チャレンジ支援セミナー」(※1)を実施、今回はセミナーの連携先である群馬大学大学院理工学府教授の板橋先生にお話を伺います。

■「リケジョ」って

少し前から、「リケジョ」という言葉がブームになっています。リケジョとは、化学や物理、生物や医学、数学、工学といった理工系分野を専攻する女性のことですが、医療系や薬学系は元々女子学生比率が高いので、ここではそれ以外の理工系の女子学生を指す言葉として使います。

群馬大学理工学部において、女子学生の比率は23%、学生の4人に1人が女子学生です。「あれ?思ったよりたくさんいる?」と思われるかもしれませんが、それは群馬大学理工学部が特別で、全国平均では1割程度なので、理工系のリケジョはとて少ないのです。

■群馬大学のリケジョ事情

群馬大学理工学部は約100年前、繊維産業の最新技術を教授する学校として誕生しました。地元桐生で生まれ育った私もこの大学の卒業生です。私が入学した36年前は女子学生はとて少なく、全体の1割に満たなかったと思います。当時はリケジョに対する求人が少なく卒業しても就職できないことが理由の一つであったかと思えます。

時代は変わり現在のリケジョの就職状況はどうなったと思いますか?以前とは真逆で、完全な売り手市場です!

■リケジョの需要は急上昇

企業では、研究分野だけでなく商品開発などでもリケジョの活躍の場が広がっています。また、女性目線を取り入れた新商品が次々と開発されヒットを飛ばしています。理工系学部卒の女子が、就職に苦労していたのも今は昔。保護者の皆さんが就職をされた頃とは、企業が求める学生像が変わっているのです。リケジョの能力や経験を活かせる場合は、これからもどんどん増えていくと思われます。

■女子中高生の理工系進路選択支援プロジェクト

群馬大学では、今年度からJST(科学技術振興機構)に採択された「リケジョを増やすためのプロジェクト」を実施しています。

理系か文系か将来の進路を決める前の高校1年生を主な対象に、群馬・栃木・埼玉3県の女子高15校と連携し、講演会や実験教室などを通して、生徒や保護者に理

工系分野の魅力を伝えるための取り組みです。

「音楽を奏でるように科学しよう!」をテーマに講演会や実験教室(※2)、企業訪問、サイエンスカフェを行っています。

■保護者の方へ

学生に、理工学部を選んだ理由を聞くと、「小(中)学生の時にやった実験が面白かった」という答えが圧倒的に多く、子どもの頃の強烈なイメージが将来の進路選択の一因となっていることがうかがえます。



一般的な「理工系は汚い、くらい、きつい」といった先入観を取り払い、何でもお子さんに体験させてください。「好き」になれば、数学や物理といった苦手な教科もできるようになります。まずは上記プロジェクトのHP(http://www.st.gunma-u.ac.jp/girls/)をご覧ください。

※1 今年度の様子は次ページに掲載
 ※2 実験教室「チョコレートのおいしさのサイエンス」2018年1月27日と2月3日に開催予定(女子中高生対象)